



阪北ファームグループ

持続可能な社会の実現を兵庫県阪神北地域から

無農薬での野菜栽培は、あらゆる面で持続可能な社会を実現していく事に繋がります。つまり国連サミットで採択されたSDGs（2030年までに国連加盟193カ国達成するための目標）の実現です。SDGsには17の大きな目標があり、そのうち無農薬での野菜栽培はかなりの部分でそれらを内包していると考えます。更に国連では「小農と農村で働く人びとの権利に関する国連宣言（以下、小農宣言）」として121カ国が賛成し、小さい農業が見直されてきています。残念な事に「小農宣言」については日本は棄権しています。小さい農業は無農薬での野菜や穀物の栽培に最適なスタイルであり、SDGsの実現にも最適なのです。



無農薬での野菜栽培を実現する為には、単純に農薬（除草剤・殺菌剤・殺虫剤など）を撒かないようにすれば良いというものではありません。畑に生える草の役割、様々な微生物の作用、野菜に虫が来る仕組みなども理解しなければなりません。そして極力、動物性堆肥や肥料は使わない、過剰に肥料を与えない、健康な野菜を作る事を目指すと結果として農薬を使わなくても美味しい野菜を作る事ができます。

その様な理論と実践が学べる場が阪北ファームなのです

阪北ファームでは、一般参加者の募集や阪神北地域の子ども食堂などと提携しジャガイモの収穫体験やサツマイモの植え付けや収穫体験、その他の野菜の栽培体験も行っていきたいと考えています。

